



平成 21 年 5 月 25 日
独立行政法人国立科学博物館

皇居の生物相調査（第 II 期）の実施について

独立行政法人国立科学博物館（館長：佐々木正峰）では、今年度から「皇居の生物相調査（第 II 期）」を実施することになりましたのでお知らせします。

当館では、「都心にありながら多数の種類の子息、生育する皇居内の動植物相について、科学的に調査研究される必要があり、西暦 2000 年における皇居内の生物についての正確な記録を残し、さらにその記録をもとに、その後の経年変化等を把握するのが望ましい」との天皇陛下のお考えを受けて、1996～2000 年度に生物相調査を実施しました。その調査で、3,638 種の動物と 1,366 種の植物が見いだされ、国立科学博物館専報 34-36 号（2000）に結果を公表しました。

今回の調査（第 II 期）のおもな目的は、前回の調査から 10 年が経過したことで、皇居の生物相がどのように変化したかを明らかにすることにあります。あわせて、皇居に生息するタヌキや鳥類など特定の動物（群）の生物学的あるいは生態学的特性を解析することも計画しています。

この調査は 2012 年度まで継続し、最終年度に報告書を出版する予定です。

本件に関するお問い合わせ先：

国立科学博物館 動物研究部 担当：友国雅章
Tel. 03-3364-7120 Fax 03-3364-7104
E-mail: tomokuni@kahaku.go.jp
同 研究推進課 担当：土屋弘之
Tel. 03-3364-7161
E-mail: tsuchiya@kahaku.go.jp

〒169-0073
東京都新宿区百人町 3-23-1
国立科学博物館分館